

# 第 30 回 茨城県民歯科保健大会

令和 6 年 11 月 10 日（日）、茨城県歯科医師会館において「人生 100 年 笑顔と健口 未来にも」をテーマに、第 30 回茨城県民歯科保健大会を開催しました。記念すべき第 30 回大会の開催にあたり、オープニングでは、過去の受賞者からのメッセージが紹介されました。続いて、歯科医師会の活動紹介、口腔と全身の関わり、生涯を通じた歯と口の健康づくりについて説明しました。式典では、大会主催者の茨城県歯科医師会 榎 正幸 会長が、「超高齢化時代を迎える現在、歯と口の健康を保ち、自分の口からおいしく食べることが人生の質を高める。関係機関と連携しながら、県民の皆様の笑顔と口の健康が未来につながるよう支援し、健康寿命の延伸に寄与していきたい。」と挨拶しました。



歯科保健大会主催者挨拶(榎 歯科医師会長)



8020高齢者よい歯のコンクール表彰

開会行事に続いて行われた表彰式では、「**8020高齢者よい歯のコンクール**」の優秀 8 名、シニア賞 2 名、歯科医師会長特別賞 2 名が表彰を受けられました。受賞者は、80 歳以上でほとんど自分の歯を失わずに健康な歯を保ち、活動的で他の模範となる歯科保健習慣を実践されている方々で、会場では、受賞者のお写真とプロフィールを映写し、日頃の生活習慣などを紹介しました。受賞者のお元気で若々しいお姿に、会場から大きな拍手が送られました。

次に、「**親と子のよい歯のコンクール**」の最優秀 1 組、優秀 4 組の表彰が行われました。受賞者は、親子ともに健康な歯を保ち、家族ぐるみで歯の健康づくりに取り組んでいる方々です。可愛らしいお子さんたちがステージに上がると、会場が笑顔に包まれていました。



親と子のよい歯のコンクール表彰



歯と口の健康に関するポスターコンクール表彰

次に、県内の小・中学校から応募いただいた「**歯と口の健康に関するポスターコンクール**」の小・中学校の部のそれぞれ、知事賞、教育長賞、歯科医師会長賞、優秀賞の表彰が行われました。会場では、作品をスライドで紹介し、その工夫を凝らした素晴らしい作品が映されるたび、感心する声に沸いていました。

続いて「**茨城県歯科保健賞**」は、積極的な歯みがき指導等により園児の歯科口腔衛生の向上に努め、歯科専門学校学生の校外実習受け入れにも協力



歯科保健賞 表彰

されている「みどり幼稚園」様が受賞されました。また、フッ化物洗口の普及拡大に尽力された「大洗町」様、歯と口のポスターコンクールの審査員を長年務められた三好義章様、木村球一様には、茨城県歯科医師会長から感謝状が授与されました。

表彰状授与の後には、よい歯のコンクール受賞者を代表して、親と子のよい歯のコンクール最優秀 石塚知恵子様より謝辞が述べられ、「これからも家族皆で歯の健康を維持し、たくさん食べて、笑って、寝て、週末には公園で思い切り遊ぶ生活を続けていきたい。」との言葉がありました。ポスターコンクール代表の小学校の部知事賞 町島 優翔さんは、「歯の大切さを教えてくれた祖父母と、3人で白い歯で笑っているポスターを描いた。みんなで8020を目指していきたい。」と述べました。



受賞者代表 謝辞(よい歯のコンクール代表)



受賞者代表 謝辞(ポスターコンクール代表)

お2人の素晴らしい言葉に、会場全体が清々しい気持ちに包まれ、表彰式は閉会となりました。

表彰式会場前ロビーには、「よい歯のコンクール受賞者メッセージ」、「歯と口の健康に関するポスター作品」などが展示され、受賞者の皆様のご家族と写真撮影をしたり、作品を熱心にご覧になったりする様子が見受けられました。また、茨城ご当地よ坊さん「みがこーモン」が来場者をお迎えし、記念撮影に応じました。



みがこーモンが来場者をお迎え



#### ロビー展示

- よい歯のコンクール受賞者メッセージ
- 歯と口の健康に関するポスター作品
- 歯科保健賞受賞者の取り組み
- 歯科専門学校紹介・歯科医療のお仕事
- ひとにやさしい器 ユニバーサルデザイン笠間焼

受賞者、ご家族、ご来賓、関係者の皆様のご多数のご出席、誠にありがとうございました。